

活動報告書

2023年9月 市川素

今年3度目の蚕期を終えました。なかなか思うように結果が出ず、苦戦が続いています。改めて養蚕の難しさを実感する日々です。

今月の主な活動

9月8日から晩秋蚕が始まりました。今回も2箱(6万頭)の飼育に取り組みました。例年だと暑さも弱まり、人にもお蚕さんにも過ごしやすい日々が続くのですが、今年は異様な暑さで連日真夏日がつづきました。おまけに一番の大桑の時期(蚕が5齢の盛食期に入る一番の繁忙期)に家族全員が熱を出してしまいノックダウン、、、ふらふらになりながら桑を取る日が続きました。



暑さでお蚕さんの成長が早まってしまったこともあり、思うように桑を食べさせることができず、仕上がった繭も少し小ぶりなものになってしまいました。



今年は昨年から少し量を増やして蚕の飼育に取り組んでいますが、今のところなかなか思うような結果に結びついていません。桑の量が足りなかったり、温度変化に対応できなかったり、上族のタイミングを見逃してしまったり、、、安定して良質な繭を生産する難しさを改めて実感しています。今シーズンも養蚕ができるのは残り1回、何とか良い結果を残せるように頑張ります。

○ご紹介

Facebookの富岡市地域おこし協力隊のページでも養蚕日誌として日々の活動を投稿していますので是非ご覧ください。

(<https://www.facebook.com/tomiokashi.chiikiokoshi>)

(*本記事の記載内容は全て私見によるものであり富岡市の公式見解ではありません)